

題材 「食の選択について考えよう - 家族や伝統とコンビニ - 」

対象：高校生

<p>題材設定の背景</p> <p>今日コンビニエンスストア（コンビニ）の機能は多様化し，弁当など調理済み食品や日用品を買うばかりでなく，行事食の購入や交流の場，人によっては心のよりどころにもなっている。このことは，家庭や地域が持っていた機能を次第にコンビニが担うようになってきているとも言える。食生活実態調査によると高校生の半数以上が週に3回以上コンビニを利用しており，待ち合わせ場所にする，何となく暇をつぶす，雑誌を読む，いろいろな情報を得るなどその目的は多様化しつつあるが，利用目的のほとんどは食品の購入である。</p> <p>本題材では，生徒たちがよく利用するコンビニや商品（市販品）に着目させ，無意識に行っていた食の選択について振り返らせ，家族の結びつきや食文化（伝統）の大切さに気付かせたい。</p>									
<p>ねらい（2時間計画）</p> <p>食の選択について討論を行い，食を通じた家族の結びつきや伝統的な食文化のよさに気付き，豊かな食生活を送ろうとする意識を高める。</p>									
<p>本時のねらい（1/2時間）</p> <p>食生活を中心にコンビニが急成長してきた背景について考え，そこには現代の生活課題があることに気付かせる。</p>									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動の内容</th> <th>主な指導・支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>活動の開始</p> <p>高校生のコンビニ利用度について知る。 「日本の食文化」の歴史について知る。 本時の活動のねらいを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">コンビニが急成長してきた背景について考えよう</div> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生のコンビニ利用調査結果を提示する。 ・食生活の年表を示し，日本の食事はこの30～40年で急変したことに気付かせる。(PowerPoint 資料) </td> </tr> <tr> <td> <p>活動の展開</p> <p>「なぜ，コンビニをよく利用するのか」について考える。 ・個人で付せんを書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 楽しい，明るい，入りやすい雰囲気，本が読める，店員の対応が素早い，安全・安心，商品が新しい，豊富，一人分ずつ買える（個別包装）待ち合わせ場所に最適，駐車場が広い，いつでも開いている </div> <p>・グループで分類しながら，用紙に付せんを貼る。</p> <p>各班でまとめ，コンビニが急成長した背景を考える</p> <p>・グループで分類した根拠となったキーワードをまとめて発表する</p> <p>・人の生活から，背景を考える</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ利用度の高まりとともに，コンビニが成長したことを確認し，コンビニが消費者のニーズに合わせて成り立っていることを気付かせる。（商品開発や店内のレイアウト） ・便利さを具体的に表現させる。 ・いろいろな人の立場に立って考えさせる。 ・グループでまとめる方法（KJ法の活用）を示す。(PowerPoint 資料) ・グループ毎に発表させる際は，前のグループで出なかった意見を発表させ，キーワードを黒板の図にまとめていく。（キーワード：時間，場所，商品特徴，店の雰囲気，多様性など） ・完成した図から，人々の生活がどう変化したからかを考えさせる。（食生活を中心にまとめる） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 24時間買える 夜型の生活も増加 生活時間の多様化 手軽に食品が買える 食事を作る時間がない 多忙さ・技能の低下 一人分ずつ買える 個食（個別化） 個人の生活重視 ホットステーション（交流の場） 家族や地域のつながりの希薄化 </div> </td> </tr> <tr> <td> <p>活動のまとめ</p> <p>コンビニを利用する背景について自分のことを振り返る。</p> <p>次時の授業について知る。</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がコンビニを利用する理由について再度考えさせ，そこに問題点がないかを考えさせ，次の学習課題へとつなぐ。 ・食の選択についての討論を行うことを説明する。 </td> </tr> </tbody> </table>	活動の内容	主な指導・支援	<p>活動の開始</p> <p>高校生のコンビニ利用度について知る。 「日本の食文化」の歴史について知る。 本時の活動のねらいを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">コンビニが急成長してきた背景について考えよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生のコンビニ利用調査結果を提示する。 ・食生活の年表を示し，日本の食事はこの30～40年で急変したことに気付かせる。(PowerPoint 資料) 	<p>活動の展開</p> <p>「なぜ，コンビニをよく利用するのか」について考える。 ・個人で付せんを書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 楽しい，明るい，入りやすい雰囲気，本が読める，店員の対応が素早い，安全・安心，商品が新しい，豊富，一人分ずつ買える（個別包装）待ち合わせ場所に最適，駐車場が広い，いつでも開いている </div> <p>・グループで分類しながら，用紙に付せんを貼る。</p> <p>各班でまとめ，コンビニが急成長した背景を考える</p> <p>・グループで分類した根拠となったキーワードをまとめて発表する</p> <p>・人の生活から，背景を考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ利用度の高まりとともに，コンビニが成長したことを確認し，コンビニが消費者のニーズに合わせて成り立っていることを気付かせる。（商品開発や店内のレイアウト） ・便利さを具体的に表現させる。 ・いろいろな人の立場に立って考えさせる。 ・グループでまとめる方法（KJ法の活用）を示す。(PowerPoint 資料) ・グループ毎に発表させる際は，前のグループで出なかった意見を発表させ，キーワードを黒板の図にまとめていく。（キーワード：時間，場所，商品特徴，店の雰囲気，多様性など） ・完成した図から，人々の生活がどう変化したからかを考えさせる。（食生活を中心にまとめる） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 24時間買える 夜型の生活も増加 生活時間の多様化 手軽に食品が買える 食事を作る時間がない 多忙さ・技能の低下 一人分ずつ買える 個食（個別化） 個人の生活重視 ホットステーション（交流の場） 家族や地域のつながりの希薄化 </div>	<p>活動のまとめ</p> <p>コンビニを利用する背景について自分のことを振り返る。</p> <p>次時の授業について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がコンビニを利用する理由について再度考えさせ，そこに問題点がないかを考えさせ，次の学習課題へとつなぐ。 ・食の選択についての討論を行うことを説明する。
活動の内容	主な指導・支援								
<p>活動の開始</p> <p>高校生のコンビニ利用度について知る。 「日本の食文化」の歴史について知る。 本時の活動のねらいを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">コンビニが急成長してきた背景について考えよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生のコンビニ利用調査結果を提示する。 ・食生活の年表を示し，日本の食事はこの30～40年で急変したことに気付かせる。(PowerPoint 資料) 								
<p>活動の展開</p> <p>「なぜ，コンビニをよく利用するのか」について考える。 ・個人で付せんを書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 楽しい，明るい，入りやすい雰囲気，本が読める，店員の対応が素早い，安全・安心，商品が新しい，豊富，一人分ずつ買える（個別包装）待ち合わせ場所に最適，駐車場が広い，いつでも開いている </div> <p>・グループで分類しながら，用紙に付せんを貼る。</p> <p>各班でまとめ，コンビニが急成長した背景を考える</p> <p>・グループで分類した根拠となったキーワードをまとめて発表する</p> <p>・人の生活から，背景を考える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ利用度の高まりとともに，コンビニが成長したことを確認し，コンビニが消費者のニーズに合わせて成り立っていることを気付かせる。（商品開発や店内のレイアウト） ・便利さを具体的に表現させる。 ・いろいろな人の立場に立って考えさせる。 ・グループでまとめる方法（KJ法の活用）を示す。(PowerPoint 資料) ・グループ毎に発表させる際は，前のグループで出なかった意見を発表させ，キーワードを黒板の図にまとめていく。（キーワード：時間，場所，商品特徴，店の雰囲気，多様性など） ・完成した図から，人々の生活がどう変化したからかを考えさせる。（食生活を中心にまとめる） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 24時間買える 夜型の生活も増加 生活時間の多様化 手軽に食品が買える 食事を作る時間がない 多忙さ・技能の低下 一人分ずつ買える 個食（個別化） 個人の生活重視 ホットステーション（交流の場） 家族や地域のつながりの希薄化 </div>								
<p>活動のまとめ</p> <p>コンビニを利用する背景について自分のことを振り返る。</p> <p>次時の授業について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がコンビニを利用する理由について再度考えさせ，そこに問題点がないかを考えさせ，次の学習課題へとつなぐ。 ・食の選択についての討論を行うことを説明する。 								

本時のねらい(2/2)		
<p>食の選択について討論し、食の社会化が進む上での問題点に気付き、食を通した家族の結びつきや伝統的な食文化のよさを大切にしようという意識を高める。</p>		
活動の内容	主な指導・支援	
<p>本時の活動のねらいと論題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>食の選択について討論を通して考えよう 論題 『高校生は、毎日手作り弁当を持参すべきである』</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスを2つ「手作り弁当派」と「市販弁当派」に分け、討論の席を8グループ作らせ、討論ができるように準備をさせておく。論題は、クラスの実態に合わせて決める。 	
<p>活動の開始</p>		
<p>活動の展開</p>	<p>討論の進め方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定派 = 手作り弁当派 ・否定派 = 市販弁当派 <p>討論をする。(進め方に沿って)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>討論の進め方</p> <p>1 肯定側(手作り派)の主張(5分) 否定側(市販派)の主張(5分) 作戦タイム(3分)</p> <p>2 否定側から肯定側への質問・反論(5分) 肯定側から否定側への質問・反論(5分) 作戦タイム(3分)</p> <p>3 否定側からの回答(5分) 肯定側からの回答(5分)</p> </div> <p>討論全体を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定義を明らかに示す。 「手作り弁当とは家から作っていく弁当。購入したものは市販弁当とするので含めない。」 ・討論の進め方(順序や時間)を黒板に掲示しておき、確認する。 ・両チームの生徒は向かい合って座らせる。 ・司会は教師が行う。 ・板書形式を工夫し、争点を意識させ、言い放しにならないようにする。(板書を生徒にさせる場合は、内容や書き方について事前打合わせをしておく) ・意見発表用シートを活用して発表させ、発表への抵抗感をなくす。 ・向かい合う班について、意見を必ず出すように責任をもたせることで、活発な意見交換ができるようにする。 ・肯定側、否定側の主張、質問、回答を踏まえて、出てきた意見から、食を選択する上での重要な視点を整理する。 【視点】時間や手間、家族、伝統(地域性)、環境、健康 ・選択には「買う」と「作る」があるが、どちらの場合もあることを確認し、市販弁当(否定側)への批判にならないように配慮する。
<p>活動のまとめ</p>	<p>これからの食を選択について自分の考えをまとめる。(感想を書く)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食の社会化が進むことの問題点について討論を基にまとめる。 【問題点】家族の結びつきの希薄化、調理技能の低下、画一化(家庭の伝統や地域性の欠如)、環境の悪化、自給率の低下など ・生徒の発言を生かしながら、弁当を作る人の思い(愛情)や家庭の味は買えないことに触れ、買おうとしても買えない大切なものがあることをおさえたい。
<p>備考</p>	<p>事前の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論題について『手作り弁当派』か『市販弁当派』の2つにわけ、グループごとにそれぞれのメリット、デメリット書かせておく。(立論の準備シート)・参考資料を渡しておく。 <p>準備物</p> <p>意見発表用シート、参考資料(討論用配布資料)、学習を終えて(ワークシート)</p>	